

OPENWAY FT RHEL 版 (Ver5.0 Rev10) リリースノート

OPENWAY FT RHEL 版 (Ver5.0 Rev10) では、OPENWAY FT RHEL 版 (Ver3.2 Rev80) に対して、以下の仕様追加を行っています。

《仕様追加》

【1】暗号化通信機能

データ連携およびソケット通信にも暗号化による通信機能を追加いたしました。
主な機能は以下の通りです。

〈暗号化方式〉

- データ連携 (FTP 通信) は sftp 通院
- ソケット通信には openssl によるソケット電文の暗号化

〈導入に必要なソフトウェア〉

- openSSH クライアント
- openSSH サーバ
- openssl

【2】 8 文字超サーバ名連携

半角 64 文字まで対応可能な「サーバ名」という項目を追加により
半角 8 文字を超えた FQDN での DNS(hosts)での通信が可能となりました

主な機能は以下の通りです。

<主な機能>

従来よりある半角 8 文字の「ホスト名」に半角64文字まで設定可能な新たな項目「サーバ名」を追加することによりFQDNでのIPアドレス取得が可能となりました。

以 上

動作環境について

OPENWAY FT RHEL 版 Ver5.0 Rev10 の動作環境は以下の通りです。

RedHat Enterprise Linux 8.0 (64bit)

RedHat Enterprise Linux 9.0 (64bit)

※OS のマイナーバージョンについては、OS ベンダーのバイナリー互換保証に基づいたサポートといたします。

※RHEL 版の実行ユーザの言語環境は「EUC」 ロケールである必要があります。